

# 第 18 回 ASPIC クラウドアワード 2024 募集のご案内

## アワードの目的・メリット



### ◆クラウドアワードの目的

国内で優秀な「社会に有益」かつ、「安心・安全」なクラウドサービス等を表彰し、クラウドサービス事業者及びユーザ企業・団体の事業発展・拡大を積極的に支援し、クラウドサービスが社会情報基盤として発展確立することを目的に実施します。

### ◆総務大臣賞(予定)

最優秀のクラウドサービスには総務大臣賞(予定)が授与されます。

### ◆受賞サービス名・企業名の公表、講演会への招待

受賞サービス及び企業名は、ASPIC ウェブサイト掲載、ニュースリリース並びに各種マスコミを通して、広く社会にアピールでき認知度向上が図れます。ASPIC 主催の講演会等に講演者として招かれ、プレゼンテーション等を行う権利が与えられます。これにより広くアピールできるだけでなく、深く理解してもらうことができます。

### ◆受賞によるイメージアップ、営業効果

受賞企業は、賞状と盾が授与されます。オフィス・受付等に展示すること、受賞マークをウェブサイト、ホームページ、会社案内、パンフレット、名刺などに掲載することにより、企業のイメージアップが図れ、営業の効果が上がります。

### ◆受賞により ASPIC アワード会員資格取得

受賞企業は、ASPIC アワード会員の資格を取得し、表彰式終了後も ASPIC からの情報提供や研究会の参加料の優遇、「クラウドサービス情報開示認定制度」審査料金の優遇などが受けられます。

### ◆応募企業のメリット

応募企業はクラウドサービス紹介サービス「アスピック」登録掲載料金、「クラウドサービス情報開示認定制度」審査料金の優遇が受けられます。



一般社団法人日本クラウド産業協会 (ASPIC)  
[ クラウドサービス情報開示認定機関 ]

# 「第 18 回 ASPIC クラウドアワード 2024」募集要項

一般社団法人日本クラウド産業協会（ASPIC）から「第 18 回 ASPIC クラウドアワード 2024」の開催をお知らせいたします。

このアワードは、クラウドサービス事業者やユーザ企業・団体を対象に、社会に有益な安全かつ安心できるクラウドサービスの普及及び市場拡大を目的として 2007 年に創設しました。総務省の後援を得て、2015 年からは総務大臣賞の授与も行われています。

今年も、最優秀サービスにはこの栄誉ある総務大臣賞が授与される予定です。ASPIC クラウドアワードは、国内外の ICT 業界やユーザ企業・団体から高い認知を得ており、毎年多数のご応募をいただいております。このアワードは皆様のサービスを国内外に広める絶好の機会です。

詳細情報、過去のアワードの状況は当協会のウェブサイトをご覧ください。

私たちと一緒に新たなクラウドの未来を創造しましょう。皆様の積極的なご応募を心よりお待ちしております。

## 1. 募集対象

ASP・SaaS・AI・IoT クラウドサービス及び IaaS・PaaS・データセンター提供事業者並びに上記サービスを利用するユーザ企業・団体とします。

## 2. 募集部門

募集部門は下記 10 部門です。

募集部門の体系については、**付属**資料 1「クラウド・IoT・AI サービス概念図及び体系図」を参照願います。

### ①社会業界特化系 ASP・SaaS 部門

企業活動や社会活動を支える業種・業界及び社会横断的なサービスを対象とする。  
農林・水産・鉱業、建設、製造、交通・物流、卸・小売、金融、情報通信、教育、観光、医療・福祉、環境、防災、行政 等

### ②基幹業務系 ASP・SaaS 部門

企業等のコア・バリューに直接関わる業務を遂行するサービスを対象とする。  
R&D、調達、製造、営業、マーケティング、販売・流通、在庫、財務、会計、人事、資産管理、電子申請、電子契約、CMS 等

### ③支援業務系 ASP・SaaS 部門

企業等のコア・バリュー創出を円滑化するためのサービスを対象とする。  
文書管理、ワークフロー、メール配信、ファイル転送、電話会議・TV 会議、ブログ・SNS 等

### ④データ活用系 ASP・SaaS 部門

オープンデータ、ビッグデータを活用するサービスを対象とする。  
電子行政、防災・防犯、健康・医療・介護・福祉、観光 等

### ⑤AI 部門

AI（ビッグデータ含む）クラウドサービスを取り扱う ASP・SaaS 及び IaaS・PaaS を対象とする。

### ⑥IoT 部門

IoT（センサー機器、アクチュエータ含む）クラウドサービスを取り扱う ASP・SaaS 及び IaaS・PaaS を対象とする。

### ⑦IaaS・PaaS 部門

システム基盤、ネットワーク基盤、開発・実行基盤、アプリケーションプラットフォーム・フォーム（PaaS）、ハード基盤（IaaS）を対象とする。

### ⑧データセンター部門

国内に設置されており、かつ自社以外の複数の企業にサービスを提供しているデータセンターとする。

⑨運用部門

データセンターの運用保守を実施しているサービス及びクラウドサービスの運用保守を実施しているサービスを対象とする。

⑩ユーザ部門

国内において、ASP・SaaS・AI・IoT・クラウドサービスを利用しているユーザ企業・団体を対象とし、業態を問いません。

### 3. アワード授与賞

①総務大臣賞（予定）

全部門から1件

②社会業界特化系 ASP・SaaS 部門

総合グランプリ／準グランプリ／ベンチャーグランプリ／他各賞

③基幹業務系 ASP・SaaS 部門

総合グランプリ／準グランプリ／ベンチャーグランプリ／他各賞

④支援業務系 ASP・SaaS 部門

総合グランプリ／準グランプリ／ベンチャーグランプリ／他各賞

⑤データ活用系 ASP・SaaS 部門

総合グランプリ／準グランプリ／ベンチャーグランプリ／他各賞

⑥AI 部門

総合グランプリ／準グランプリ／ベンチャーグランプリ／他各賞

⑦IoT 部門

総合グランプリ／準グランプリ／ベンチャーグランプリ／他各賞

⑧IaaS・PaaS 部門

総合グランプリ／準グランプリ／ベンチャーグランプリ／他各賞

⑨データセンター部門

総合グランプリ／準グランプリ／他各賞

⑩運用部門

総合グランプリ／準グランプリ／ベンチャーグランプリ／他各賞

⑪ユーザ部門

総合グランプリ／準グランプリ／ベンチャーグランプリ／他各賞

各賞の詳細は、**付属**資料3「アワード各賞（予定）」を参照願います。

### 4. 応募方法

応募には、①アワードへの申込み（応募サービスの名称、応募分野、企業名等）と、②エントリーシートの提出（応募サービスの内容、特長、販売実績等を記載）の2つのフェーズがあります。

(1) アワードへの申込み

締切 **2024年6月20日(木)**

2024年4月22日(月)より、ASPIC ホームページの「アワードへの申込み」

(下記 URL) からお申込みください。

(<https://www.aspicjapan.org/event/award/18/index.html>)

## (2) エントリーシートの作成&提出

### ①エントリーシート（フォーマット）の入手

「アワードへの申込み」からお申込みいただくと、自動返信メールにて、「エントリーシートの入手方法」及びダウンロード用の URL が記載された電子メールが届きますので、エントリーシートをダウンロードしてください。

なお、エントリーシートの内容は、付属資料 2「エントリーシートの記載内容と審査項目」を参照願います。

### ②エントリーシートの提出 締切 2024年6月30日(日)

エントリーシートに必要事項をご記入し、「ASPIC クラウドアワード 2024 事務局」(aspic\_award2024@aspicjapan.org)宛にEメールにてお送りください。

## (3) 応募の完了

事務局からのエントリーシート受領確認メールの送付をもって応募の完了となります。エントリーシートの提出は、アワードの応募申し込みを行った方のメールアドレスから送付してください。

## (4) 応募特典について

事務局からの応募確認メールの受領により、応募特典を受けることができます。

## 【注意事項】

- (i) アワードの審査、報道発表、並びに表彰状・表彰楯には、エントリーシートに記入された「企業名」、「エントリーサービス名」を使用しますので、記入に当たっては間違いのないようにご注意ください。
- (ii) 「エントリーサービス名」表彰状・表彰楯にも書ききれないような長い名前は、相談の上、短縮された名称とさせていただくことがあります。
- (iii) エントリーシートに記載された「エントリーサービス名」、「サービス概要」は ASPIC ホームページ、ニュースリリース等に掲載させていただく場合がありますことをご了承願います。

## 5. 応募の注意事項

- (1) 日本国内で、商用サービス提供を行っているサービスを応募してください。サービスに至っていない企画段階のものや商用提供ではなく実証実験中のサービスなどは、応募できません。従って、実績の項目は必ずお書きください。
- (2) 応募される企業の国籍などは問いませんが、応募及び審査のために提出いただく書類（エントリーシート、プレゼンテーション資料、内容に関する問い合わせ等）は全て日本語とします。
- (3) 過去に総務大臣賞や各部門総合グランプリを受賞したサービスは、原則、応募できません。各部門総合グランプリを受賞したサービスを再度、応募される予定の方は、事務局にご相談ください。
- (4) 過去にアワードで受賞したサービス（各部門総合グランプリを含む）は、応募可能です。ただし、過去に受賞した以降に追加した機能・サービス・実績などが審査対象となります。
- (5) 審査は、主に応募企業から提供される情報に基づいて行いますので、正しい情報を記述してください。虚偽の内容であることが判明した場合は、審査を行いません。

## 6. 応募費用

無料

## 7. 審査方法

審査は総務省、外部学識経験者・有識者、公的団体役員、ASPIC 会長及び関係者等により構成される審査委員会で審査を行います。

- (1) 1次審査  
1次審査委員会において、エントリーシートに基づき、サービス内容、機能等の記載内容について審査します。
- (2) 2次審査（プレゼンテーション資料審査）  
2次審査委員会において、プレゼンテーション資料に基づき、サービス内容について審査します。
- (3) 2次審査（プレゼンテーション審査）  
2次審査委員会において、プレゼンテーション及び質疑応答等を行っていただき、審査します。
- (4) 総務大臣賞決定会議  
プレゼンテーション審査対象サービスの中から、審査し決定します。

## 8. 実施スケジュール

- ①応募期間
  - ・申込み期間 2024年4月22日(月) ～ 6月20日(木)
  - ・エントリーシート提出期間 2024年4月22日(月) ～ 6月30日(日) 必着
- ②1次審査(エントリーシートに基づく書類審査)  
結果通知：8月上旬  
1次審査を通過後、プレゼンテーション資料を作成・提出していただきます。  
作成要領につきましては、別途ご案内いたします。
- ③2次審査用プレゼンテーション資料の作成  
提出締切：8月31日(土)
- ④2次審査(プレゼンテーション資料に基づく書類審査)  
結果通知：10月上旬  
2次審査(プレゼンテーション資料審査)を通過後、プレゼンテーション及び質疑応答の準備を行っていただきます。  
プレゼンテーションに進めなかった場合でも各賞に受賞する可能性はあります。
- ⑤2次審査(プレゼンテーションによる審査)実施及び質疑応答  
10月中旬～下旬に実施し、結果は表彰式で発表します
- ⑥表彰式等  
表彰式にて各賞の表彰を行います。終了後、記念パーティを行います。

## 9. 表彰式

アワード各賞を受賞された方は、表彰式で表彰いたします。表彰式に参加いただける方は、2次審査終了後、ご案内いたします。

表彰式は

**2024年11月20日(水) 経団連会館・国際会議場**

終了後、経団連ホールで受賞記念パーティを行います。

## 10. 後援団体(予定 順不同)

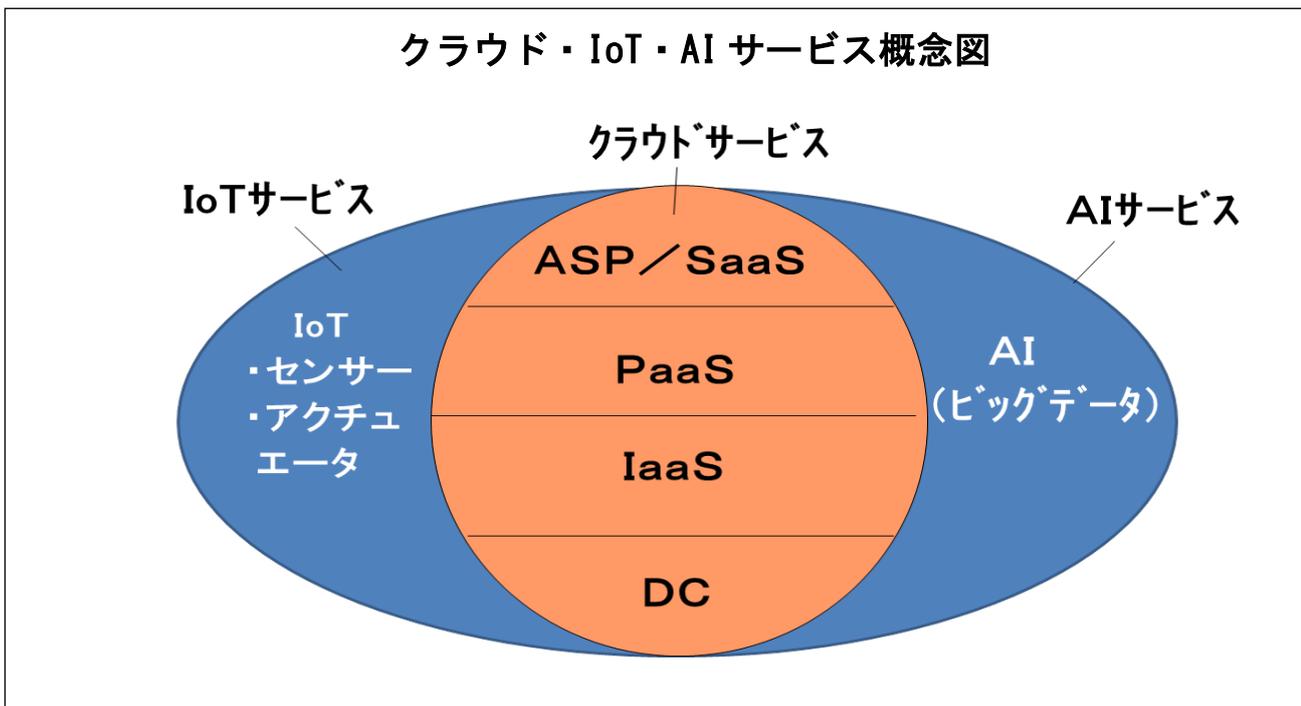
- ・総務省
- ・一般財団法人 マルチメディア振興センター
- ・東京商工会議所
- ・一般社団法人 千葉県商工会議所連合会
- ・全国ソフトウェア協同組合連合会
- ・一般財団法人 インターネット協会
- ・一般社団法人 社会情報学会
- ・一般社団法人 日本情報システム・ユーザ協会
- ・一般社団法人 東京都情報産業協会
- ・一般社団法人 神奈川県情報サービス産業協会
- ・公益社団法人 千葉県情報サービス産業協会
- ・公益社団法人 埼玉県情報サービス産業協会
- ・一般社団法人 日本テレワーク協会
- ・一般社団法人 重要生活機器連携セキュリティ協議会
- ・一般社団法人 ICT CONNECT21
- ・一般社団法人 日本クラウドセキュリティアライアンス
- ・一般社団法人 日本インターネットプロバイダー協会
- ・一般社団法人 熊本県情報サービス産業協会

## 11. 問合せ先

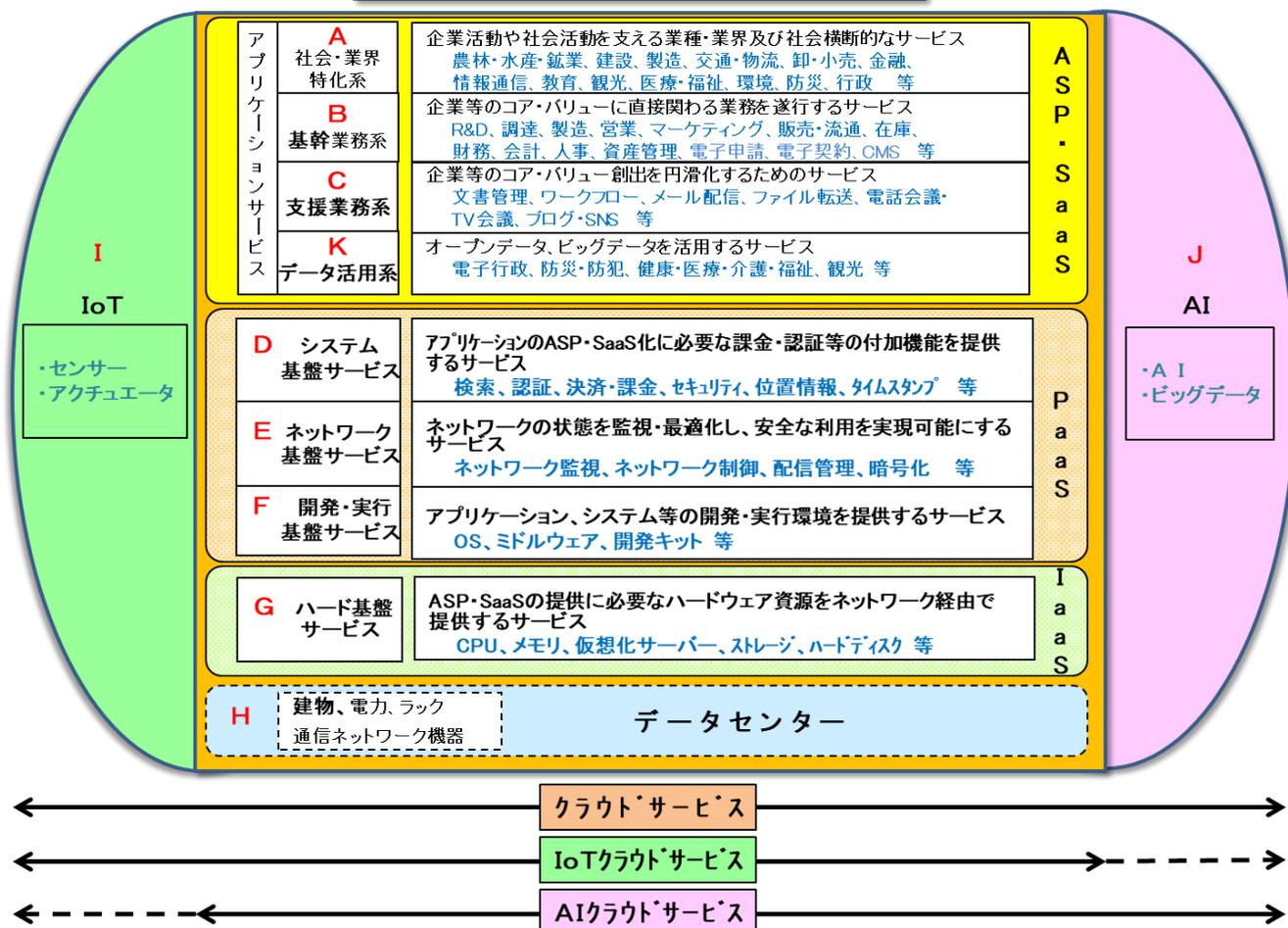
一般社団法人日本クラウド産業協会 (ASPIC)  
ASPIC クラウドアワード 2024 事務局  
担当 高橋、春日、志柿  
e-mail : [aspic\\_award2024@aspicjapan.org](mailto:aspic_award2024@aspicjapan.org)  
TEL : 03-6662-6591 FAX : 03-6662-6347

# クラウド・IoT・AI サービス概念図及び体系図

## クラウド・IoT・AI サービス概念図



## クラウド・IoT・AIサービス体系図



## エントリーシートの記載内容と審査項目

主 な 記 入 項 目	応 募 部 門						
	ASP SaaS 部 門	A I 部 門	IoT 部 門	IaaS PaaS 部 門	DC 部 門	運 用 部 門	ユ ー ザ 部 門
会社概要(資本金、売上、社員数、ベンチャー要件、経営ポリシー 等)	●	●	●	●	●	●	●
エントリーサービス(サービス名、サービス開始時期、サービス概要、詳細、等)	●	●	●	●	●	●	●
アピールポイント	●	●	●	●	●	●	●
安心・安全・信頼性	●	●	●	●	●		●
サービスサポート	●	●	●	●	●		
活用技術	●	●	●	●	●		
連携・拡張性	●	●	●	●	●		●
経営改革・業務革新	●	●	●	●		●	●
チャレンジ	●	●	●	●	●	●	●
プラットフォーム		●	●				
センサー機器		●	●				
データ収集		●	●				
データ活用		●	●				

◆詳細の記入項目はエントリーシートをダウンロードのうえご確認をお願いします。

# アワード各賞(予定)

## 総務大臣賞

### 社会・業界特化系ASP・SaaS部門

1. 総合グランプリ	全評価項目の最高得点のサービス
2. 準グランプリ	全評価項目で評価の高いサービス
3. ベンチャーグランプリ	ベンチャー企業による優れたサービス及び サービス開始間もない将来性の高い優れたサービス(企業規模は問わず)
4. 他各賞	優れた特徴を有するサービス

### 基幹業務系ASP・SaaS部門

1. 総合グランプリ	全評価項目の最高得点のサービス
2. 準グランプリ	全評価項目で評価の高いサービス
3. ベンチャーグランプリ	ベンチャー企業による優れたサービス及び サービス開始間もない将来性の高い優れたサービス(企業規模は問わず)
4. 他各賞	優れた特徴を有するサービス

### 支援業務系ASP・SaaS部門

1. 総合グランプリ	全評価項目の最高得点のサービス
2. 準グランプリ	全評価項目で評価の高いサービス
3. ベンチャーグランプリ	ベンチャー企業による優れたサービス及び サービス開始間もない将来性の高い優れたサービス(企業規模は問わず)
4. 他各賞	優れた特徴を有するサービス

### データ活用系ASP・SaaS部門

1. 総合グランプリ	全評価項目の最高得点のサービス
2. 準グランプリ	全評価項目で評価の高いサービス
3. ベンチャーグランプリ	ベンチャー企業による優れたサービス及び サービス開始間もない将来性の高い優れたサービス(企業規模は問わず)
4. 他各賞	優れた特徴を有するサービス

## AI部門

1. 総合グランプリ	全評価項目の最高得点のサービス
2. 準グランプリ	全評価項目で評価の高いサービス
3. ベンチャーグランプリ	ベンチャー企業による優れたサービス及び サービス開始間もない将来性の高い優れたサービス(企業規模は問わず)
4. 他各賞	優れた特徴を有するサービス

## IoT部門

1. 総合グランプリ	全評価項目の最高得点のサービス
2. 準グランプリ	全評価項目で評価の高いサービス
3. ベンチャーグランプリ	ベンチャー企業による優れたサービス及び サービス開始間もない将来性の高い優れたサービス(企業規模は問わず)
4. 他各賞	優れた特徴を有するサービス

## IaaS・PaaS部門

1. 総合グランプリ	全評価項目の最高得点のサービス
2. 準グランプリ	全評価項目で評価の高いサービス
3. ベンチャーグランプリ	ベンチャー企業による優れたサービス及び サービス開始間もない将来性の高い優れたサービス(企業規模は問わず)
4. 他各賞	優れた特徴を有するサービス

## データセンター部門

1. 総合グランプリ	全評価項目の最高得点を獲得したデータセンター
2. 準グランプリ	全評価項目で評価の高いデータセンター
3. 他各賞	優れた特徴を有するデータセンター

## 運用部門

1. 総合グランプリ	全評価項目の最高得点を獲得したサービス
2. 準グランプリ	全評価項目で評価の高いサービス
3. ベンチャーグランプリ	ベンチャー企業による優れた運用サービス及び サービス開始間もない将来性の高い優れた運用サービス(企業規模は問わず)
4. 他各賞	優れた特徴を有するサービス

## ユーザ部門

1. 総合グランプリ	全評価項目で最高得点を獲得したユーザ企業
2. 準グランプリ	全評価項目で評価の高いユーザ企業
3. ベンチャーグランプリ	クラウドサービスの利用により優れた成果を上げたベンチャー企業
4. 他各賞	優れた特徴を有するユーザ企業

### 《参考》

#### ＜ベンチャー企業＞

独自の技術や製品で成長していく企業を「ベンチャー企業」とし、新たに起業され、創業間もない企業を対象とし、下記のうち2つ以上該当することとします。

- ① ベンチャーキャピタルから出資を受けている会社。
- ② 経済産業省・地方自治体などから、指定ベンチャーの認定を受けている会社。
- ③ オリジナルの技術・ビジネスモデルを確立していて、市場参入している会社。
- ④ 中小企業法に定められる、サービス業で資本金の額又は出資の総額が5千万円以下の会社、又は、常時使用する従業員の数が100人以下の会社。
- ⑤ 設立5年以内の会社。